

読書のまち三郷だより

No.14

平成23年

4月号

三郷市教育委員会

今こそ、読書で知恵と知識を蓄えよう！

桜も咲き始めました。気持ちもさわやかに新年度のスタートです。未曾有の大震災が生活に不安と影響をあたえています。日本が元気に復興していくように、知恵と協力で乗り切っていきましょう。そして、読書する中で先人の知恵や様々な知識を学んで、一人一人の中に生きる力を蓄えていきましょう。さらに、みんなで本の楽しさ知る喜びがあふれる三郷のまちづくりに推進していきましょう。

＊準備万端：新しい教科書に対応した学校図書館！＊

小学校はこの4月から教科書が新しくなります。文科省の基本方針として、読書や学校図書館利用が重視されています。それを受けて、教科書でも本の紹介や本を活用した授業が多く取り入れられています。特に国語科の教科書では1年生から6年生までで約400冊の本が紹介されています。分野も物語だけでなく、科学の本や年鑑・統計の資料など幅広く紹介されています。紹介されている本を多くの学校図書館ではすでに揃え、いつでも授業に対応できるように準備が整っています。



幸房小学校：教科書に紹介されている本のコーナー

小学校の学校図書館にエアコンがはいります！

このところ夏の暑さがとても厳しくなっています。学校図書館が読書でも学習でも快適に使えるようにと、市内の小学校にエアコンが入ることに3月の議会で決定しました。計画停電や節電の中ですが、計画的に使用されることによって、暑くてたまらない6月7月9月の授業での学校図書館利用が画期的に推進されます。また、計画的な有効利用によって、夏休み中の開館にも弾みがつき、児童だけでなく、保護者や地域の方の学校図書館活用も考えられていきます。

暑い夏休み 一人一人が家庭でエアコンを使うより

みんなで学校図書館に集まって 読書したり学習したりしよう！



「葦のみち」をご存じですか。三郷市の歴史が分かる市史の研究史です。21号まで発行されています。22号はこの4月に刊行予定です。三郷の具体的な歴史が分かりやすく書かれています。学校に1冊配布されていますが、中学校や高等学校の学校図書館に蔵書として置いていただくのもいいですね。

また、市民のみなさんも興味がおありでしたら、ぜひお読み下さい。三郷への理解や愛着が深まることでしょう。

1部300円で教育委員会で頒布されています。



こども読書週間 4月23日～5月12日

第53回子どもの
読書週間標語

* 友だち百冊つくるんだ！ *

こどもたちにもっと本を、こどもたちにもっと本を読む場所をとる願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、こどもたちに本を手渡す様々な行事が行われてきました。

幼少の時から書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、物ごとを正しく判断する力をつけておくことが、こどもたちにとってどんなに大切なことか...。こどもに読書を勧めるだけでなく、大人にとってもこどもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。そして、今年度の標語は「友だち百冊つくるんだ！」です。「読書のまち三郷」の子どもたちも、今年度ともだち百冊はつくりましょう。

中学校でも読み聞かせ

彦糸中学校はボランティアによる読み聞かせが入って10年目！



※“読み聞かせ”の語感より、聞き手と話し手のつながりを大切にして“読み語り”の言葉を意識的に使用していますとのことです。

彦糸中学校ではボランティア約20名のみなさんによる読み語り毎月1～2回行われています。活動は今年度で10年目に入ります。生徒のみなさんも普段と違うひとときに、お話によく聞き入っているとのこと。

また、図書委員による読み語りも実施されています。

東日本大震災の避難の方たち用に 瑞沼市民センターにも本を配本！

瑞沼市民センターに279名の方が避難されています。そこに市の図書館から心の糧に読んで頂ければと約700冊配本しました。また、市の図書館も活用して下さるようにと図書館の利便券も全員に配布しました。

“ららほっとみさと”でお話し会へのご協力を！

昨年度から、月に1回、“ららほっとみさと”でのお話会が始まり、いろいろなボランティアの方にご協力頂きました。今年度も5月～3月まで月1回予定されています。ご協力していただけるボランティアの方は下記までご連絡ください。教育委員会 指導課 930-7758

スチューデントデザイン・プロジェクト

早稲田中学校



プロのデザイナーさんとのコラボレーションで 分類標示ボードをデザイン化

早稲田中学校では、使いたくなる、行きたくなる魅力的な図書館をめざして、プロのデザイナーと募集によって集まったボランティアの生徒たちで、分類ボードを作成しました。分類ボードの下書き図案ができれば、パソコンでデザインを作成しました。デザインを立体化し作成されたのが、左の写真のボードです。生徒達の豊かな発想がプロのデザイナーのアドバイスで実現しました。引き続き今年度も実施されるそうです。